

学級活動

○ 児童会活動

学校行事

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台東小学校	対象となる主な学年	全校
取組事例名	縦割り班掃除		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像	
児童の実態	取組を通して育てたい児童像
<ul style="list-style-type: none"> ○自分の良さに気付き、その良さを生かすことが難しい児童がいる。 ○仲間と支え合い、学び合うことが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に課題解決し、自己有用感を高める児童



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<ul style="list-style-type: none"> ・縦割りによる異年齢集団で清掃活動を行うことにより、異学年児童とよりよい人間関係を築くとともに、高学年のリーダーシップや思いやりの心を育てる。さらに、協働しあうことによって、自己肯定感や自己有用感を高める。 	
取組の流れ・創意工夫・児童の変容等	
1 取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・必要感のある異学年交流を意図して、原則全学年児童が所属する縦割り班を36班編制している。 ・高学年児童のリーダーシップ育成を意図し、6年生児童が班のリーダーとして、掃除の指示や役割分担を行っている。またリーダーを中心とした振り返りを行い、3観点で自己評価をしている。 ・児童の主体性を喚起することを意図して、担当教職員は6年生児童を中心に児童に活動を委ねながら、必要な指導や助言をするようにしている。
2 創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己有用感の向上や高学年児童の意識の向上を意図して、リーダーが頑張っている児童の名前やコメントを記載したMVPカードを定期的に児童玄関に掲示している。 ・児童間及び児童職員間の円滑な情報共有を意図して、縦割り班掃除のクラスルームを全児童と教職員で活用している。 ・肯定的なフィードバックを円滑にやり取りすることを意図して、端末にて、全児童及び教職員が振り返り表を共有している。 ・縦割り班内での関係性を深めていくことを意図して、定期的に縦割り班遊びを実施している。
3 児童の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に委ねた活動を意図したことにより、6年生児童の意欲的な言動が多く見られ、下学年児童への効果的な声かけの場面も増えている。 ・リーダーシップを発揮している6年生児童に感化され、5年生児童の意識の高まりが見られている。 ・同じ縦割り班の異学年児童らによる相互理解が深まっており、好ましい人間関係が築かれている。

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）
<ul style="list-style-type: none"> ○リーダーシップを発揮しようとする6年生児童の自己有用感の向上に繋がっている。 ○6年生児童を良きモデルとして、来年度に向けて5年生児童のリーダーを担う意識が高まっている。 ○自分の良さは、まわりの人に認められていると感じている児童が増えている。 <p>学校評価アンケート（前期 77.5%→後期 83.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童間及び児童職員間の肯定的なフィードバックの頻度を高め、より効果的に自己有用感の向上を狙いたい。